

注目されるプレスリリースの作り方

企業や組織の活動を広報PRするうえで、情報発信のツールとして欠かせないのがプレスリリースです。注目される効果的なプレスリリースの作り方を、実例をもとに解説します。

広報PR・危機対応コンサルタント 山見 博康

配布記者クラブ名を全部記してグッド

明確なロゴ

インパクトあるタイトル

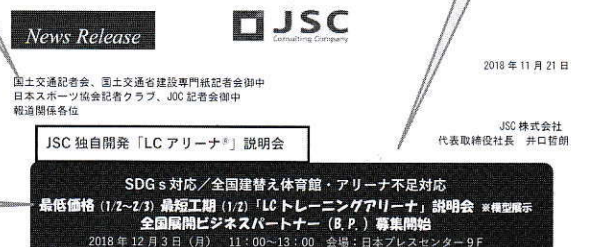
「最」が強い

完璧なリード部

目標=会社の意図が明確

時間割で一目で分かる

段落・小見出し・箇条書の王道



JSC独自開発「LCアリーナ®」説明会

SDGs対応/全国建替え体育館・アリーナ不足対応

最低価格(1/2~2/3) 最短期(1/2)「LCトレーニングアリーナ」説明会 ※種類別展示

全国展開ビジネスパートナー (B.P.) 募集開始

2018年12月3日(月) 11:00~13:00 会場: 日本プレスセンター9F

全国には、小中学校や公共・民間の体育館が4.3万棟あります。さらに、全国小中学校の建物は老朽化が進み、7割近くが経年25年以上の要改修建物とされています。さらに、アリーナ不足は全国的な問題となっています。この現状に対し、技術的解決を図るべく、当社は、通常建設費1/2~2/3の超低コスト、1/2の最短期の大空間建築「LCアリーナ®」を開発しました。2017年9月「アリーナ立川立飛」及び2018年5月「日本財団パラアリーナ」を当社設計・施工で竣工いたしました。これに、様々な設計・施工・運営ノウハウが蓄積され、全国レベルでの施設不足問題を解決するのには、当社「LCアリーナ®」を全国に普及する以外にはないと考えております。

この度、一般的な体育館規模となる標準床面積1,500㎡~3,000㎡程度の体育館・中規模アリーナを「LCトレーニングアリーナ」と位置づけ、全国展開を決定。その早期普及のため、LCトレーニングアリーナを活用したい事業者・設計・施工会社のビジネスパートナー (B.P.) を募集開始致しました。

【目標】 ビジネスパートナー (B.P.) を、初年度30社/3年後100社へと拡大、「LCトレーニングアリーナ」の受注を初年度10棟/2年目30棟/3年目50棟に拡大します。

来る12/3(月)下記の通り、メディア・ビジネスパートナー様向け、「LCトレーニングアリーナ」の説明会を開催いたしますので、是非お話し頂きたいとお願ひ申し上げます。

【日時】 2018年12月3日(月) 11:00~13:00 (10:30受付開始)

11:00~11:05 代表挨拶 JSC 代表取締役社長 井口 哲朗

11:05~11:15 オートスピーカー 京田大スポーツ科学専門学校教授 原田 宗彦氏

「自分の学校・自身体験から入るスポーツ施設不足の問題」

11:15~11:45 LCトレーニングアリーナの説明とビジネスパートナー募集について

JSC 代表取締役社長 井口 哲朗

JSC アリーナ開発本部 部長 高橋 功次 部長 井口 史実

11:45~13:00 質疑応答 及び 個別取材対応

【会場】 千代田区内幸町2-2-1 日本プレスセンター9F 会見室

背景

建築基準法では、1981(昭和56)年の新耐震基準への移行、2013(平成25)年の特定天井の制度など、安全基準を厳格化し、既存施設も多くが適合できていない実態です。改修による継続使用にも限りがあり、建て直しが必要になっていきます。しかし、コストや代替建物の問題から、なかなか実行に踏み切れない現状があります。

LCアリーナ®/LCトレーニングアリーナの特徴

- ① 工事費を超低コストに抑える設計=既存の大空間建築物に比べ1/2~2/3のコスト実現
 - ・ シンプルな剛一フレーム形状で躯体コスト・外装材コストを削減
 - ・ 最適化した躯体フレームの設計、使用設備量の入り目化・施工床面積削減による内装工事費の削減
 - ・ 蓄積した構造設計ノウハウによる独自開発のLC基礎工法(特許出願中)で最大限の基礎と土工事費削減
- ② 最短期=通常1年程度を1/2の5~6ヶ月程度、建設中の代替期間を最小化
 - ・ システム化された躯体/外装材の導入で、効率的な工場製作と現場作業の最小化による工期短縮
- ③ LCアリーナ®で開発したイベントや各種競技基準に対応したオリジナル商品=多種多様なニーズに対応
 - ・ ロコストな移動型客席やビジョン等の演出トラス、国際ライセンスを取得した競技用座席、練習記録・分析用トレーニングカメラなど、当社LCシリーズとしてオリジナル開発・特許取得・特許出願中です。

太字で重要性を際立たせている

枠で囲みビジュアルも目立つ

一覧表により一目瞭然と比較できる

写真と経歴が一目で分かる

会社概要がコンパクトで良い

地図が親切

1989年設立の同社は、構造設計の技術力をベースに、2016年からローコスト・短工期の大空間建築物「LCアリーナ®」を開発し、その設計・施工の一貫体制を構築。2017年に「VR ZONE 新宿」「アリーナ立川立飛」、2018年に「日本財団パラアリーナ」を建設しました。

全国にある公共・民間の体育館4万3000棟の9割が老朽化による要改修建物で、アリーナ不足は深刻な問題となっています。その抜本的解決を図るべく、特に小規模アリーナ・体育館用の、最低コスト・最短期の「LCトレーニングアリーナ・体育館」の全国展開を決定。その早期普及のために事業者、設計・施工会社のビジネスパートナー (B.P.) の募集を開始しました。

このニュースリリースは、その記者説明会用です。タイトルで目を引き、多くの情報がコンパクトにまとめられ、写真や表のビジュアル、段落・小見出し・箇条書で一目で分かる工夫を駆使したお手本です。

	LCトレーニングアリーナ	3,000㎡ LCアリーナ*	5,000㎡ LCアリーナ*	10,000㎡ LCアリーナ*	従来の5,000㎡アリーナ
原価	なしor移動費	3,000円以上	5,000円以上	10,000円以上	6,000~7,000円
経路面積	1,500~3,000㎡程度	6,000㎡程度	10,000㎡程度	17,000㎡程度	20,000~30,000㎡程度
アリーナサイズ	バスケットコート1~2面	バスケットコート3面	バスケットコート3面	バスケットコート3面	バスケットコート3面程度
工期	5~6ヶ月	6ヶ月程度	7ヶ月程度	12ヶ月程度	2~2年半程度
工事費	5~10億円程度	20億円程度	35億円程度	100億円程度	100~230億円程度

ビジネスパートナー (B.P.) について ※事前に業種や経営状況、反社チェック等の確認をさせていただきます。

LCトレーニングアリーナの全国展開に向け、LCトレーニングアリーナを活用したい事業者・設計会社・施工会社を募集します。当社はLCアリーナ®で数多くの知見と特許を取得しており、ビジネスパートナー (B.P.) と全国展開の事業拡大を行う計画です。

原田 宗彦 (はらだ むねひこ) 氏

1954年3月生。64才。大阪府出身

早稲田大学スポーツ科学部助教授

日本大学スポーツマネジメント学会 会長

【著書・寄稿】

「スポーツ施設マネジメント」(第1994号版) 『リーグマニングの最新知識』 『オリンピックマーケティング』 等多数

井口 哲朗 (いぐち てるろう) 氏

1953年4月生。65才。鹿児島県出身

JSC 代表取締役社長 CEO

一般建築士、構造設計一級建築士、

ドーム建築家『ワンダードーム』特許取得、岩谷の「セルリアンタワー」の設計監理に関わる、新築後改修問題の立場として安全法の検証に関わる。

JSC株式会社 1989年1月設立。構造設計の技術力を中心に、2016年からローコスト・短工期の大空間建築物「LCアリーナ®」を開発しアリーナの設計・施工の一貫体制を構築。2017年「VR ZONE 新宿」、2017年「アリーナ立川立飛」、2018年「日本財団パラアリーナ」を建設。「アリーナ立飛」は、F1リーグ「アルパルク東京」のホームアリーナ、「フットサルリーグ」開催、「卓球リーグ」開催、の運用実績をもつ。JSCの3,000~5,000㎡ LCアリーナ®は、年間2~3棟の受注を目標としています。

【お問合せ先・お申込先】

JSC株式会社

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-10-5・10F

TEL 03-5456-1348, FAX 03-5456-1347

広報担当 山見 博康 携帯: 090-5552-6354

Eメール: j-sc@jscinfo.jp